

いつもキルビー学院のレッスンをご受講いただき、ありがとうございます。



キルビー学院 Newsletter

100th
ANNIVERSARY
1920



October 2024 No.42



10月といえばハロウィンの月ですね。今回はハロウィンといったらあの有名なフレーズ「trick or treat」(お菓子をくれなきゃ、いたずらするぞ!)の「treat」の意外な用法について紹介します!「treat」はお菓子などのご褒美を表す意味だけではなく「おごる」や「扱う」「治療する」という意味もあります。

例: **It's my treat.** → **私の奢りね!**

My aunt treats me like a child still.

→ **叔母はいまだに私を子供扱いしてくる。**

「trick or treat」でお馴染みの treat にこのような用法があるとは思いませんでしたね。単語自体は難しくないのですが、ぜひ意味をそれぞれ覚えて実際に使ってみましょう!



講師の紹介: トーマス先生



トーマス先生は、キルビー学院で20年以上教えているベテランの先生です。

明るくフレンドリーで生徒さんの人気者です。レッスンの内容は幅広く、やさしい会話からビジネスで使う内容まで、生徒さんのニーズに合わせて教えてくれます。フリータイムレッスンでは、月曜日のインバウンド英会話(接客英語)(18:40~19:30、19:40~20:30(隔週))と金曜日のオーダーメイド英会話(18:40~18:30、19:40~20:30)を担当しています。ぜひご体験ください。